

Prevalence of atopic dermatitis in Japanese elementary schoolchildren.

出典	Br J Dermatol 2005 Jan; 152(1): 110-114. (http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/15656810)
著者	Saeki H 他
調査地域	北海道、岩手県、東京都、岐阜県、大阪府、広島県、高知県、福岡県
調査時期	2001 年
調査対象	小学 1 年生 (6~7 歳) 小学 6 年生 (11~12 歳)
依頼数	29482 人
有効回答数	23719 人
有効回答率	80.4%
診断方法	医師による診察
有症率	11.2%
地域別有症率	北海道 : 11.0% 岩手 : 7.4% 東京 : 10.2% 岐阜 : 12.5% 大阪 : 13.6% 広島 : 11.2% 高知 : 7.8% 福岡 : 15.0%
学年別有症率	1 年生 : 11.8%、 6 年生 : 10.5%
男女別有症率	男児 : 11.4%、 女児 : 11.0%
居住地区別有症率	都市部 : 10.9%、 郊外 : 11.5%
調査概要	8 都道府県における小学生のアトピー性皮膚炎の有病率を、皮膚科医の診察に基づいて調査した論文。全体として有病率は 11.2%で、その 74%が軽症だった。1 年生は 6 年生よりもわずかに有病率が高かった。